

事前評価個表

整理番号	10
------	----

地域（地区）名	やまなしとうぶ 山梨県	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	山梨県	対象市町村	ふじよしだし 富士吉田市ほか11市町村
事業実施期間	H31 ～ H35 （5年間）	事業実施主体	県、市町村、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は、山梨県の東部に位置し、北部は埼玉県、東部は東京都及び神奈川県、南部は静岡県、西部は富士川上流及び富士川中流地区に接する富士吉田市ほか11市町村からなっている。</p> <p>本地区の総面積131千haのうち、森林面積は108千ha（森林率82%）となっている。このうち、対象民有林は95千ha（森林全体の88%）、人工林は50千ha（人工林率53%）となっており、人工林は主にヒノキ、スギ、アカマツ及びカラマツにより構成されている。</p> <p>本地区の民有林人工林はX齢級以上の森林面積が78%を占めており、利用間伐が必要な状況にあるが、森林所有者不明森林が多いため施業集約化が進んでいないことのほか、森林所有者の高齢化や世代交代に伴う自己所有森林への関心の薄れ等により、必要な施業に遅れが生じている。</p> <p>このため、本事業により、本地区内の小規模森林を面的にとりまとめる施業集約化と効率的な路網整備を一層推進し、適切な森林整備により水源涵養機能や土砂流出防止機能等、森林の持つ公益的機能を向上させるとともに、間伐材等の森林資源の有効活用を進めていく。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：3,572ha 人工造林、下刈り、枝打ち、除伐、保育間伐、間伐等</p> <p>路網整備：10,676m 林業生産基盤道、林業専用道</p> <p>総事業費：1,924,949千円（税抜き1,782,361千円）</p>
費用便益分析結果	<p>B/C = 3.10 （総便益（B）= 8,881,857千円、総費用（C）= 2,864,111千円）</p>
評価結果	<p>必要性：利用間伐対象林の割合が多く、適切な間伐等が求められる地域であり、また森林の水源涵養機能や土砂流出防止機能等の公益的機能の発揮を図るため必要性が認められる。</p> <p>効率性：費用便益分析の結果から十分な効率性が認められる。</p> <p>有効性：適正な森林整備により、間伐が遅れた林分の解消や森林資源の循環利用としての経済林の適正な整備、及び森林の有する公益的機能の発揮と県産材の安定供給を図ることを目的としており、山村経済の振興の面においても、有効性が認められる。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業

都道府県名: 山梨県

地域(地区)名: 山梨^{やまなしとうぶ}東部

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源 ^{かん} 涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	1,835,685	
	流域貯水便益	509,116	
	水質浄化便益	1,055,918	
山地保全便益	土砂流出防止便益	1,548,433	
環境保全便益	炭素固定便益	1,220,414	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	49,238	
	木材利用増進便益	11,066	
	木材生産確保・増進便益	1,146,298	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	1,505,689	
総 便 益 (B)		8,881,857	
総 費 用 (C)		2,864,111	
費用便益比	$B \div C = \frac{8,881,857}{2,864,111} = 3.10$		

